日本機械学会誌　2011. 1　Vol. 114　No.1106

TOPICS

明日にきらめけ！　機械系女子

1. はじめに

大学２年の春，新学期を迎え授業に臨もうと席についていた筆者（当時，ショートカットでパンツ好き）の後ろで，クラスメートの男子学生が言った．「このクラス，女子がいないなぁ」．200 人の大教室で女子学生を探すのはシロツメグサの花畑で四ツ葉のクローバを探すようなもの．ある機械系女子は，クラスメートたちと授業へ食事へと移動しているところを見た人に，「男子をひきつれて歩いていた」と言われることも．

機械系の学部を卒業した皆さんは，このような場面に遭遇したことが少なからずあるのではないだろうか．ご存知のように機械工学系専攻における女子学生の割合は，今も，筆者が学生であった当時も少なく，数％というのが現状である．そんな機械系女子 OG のわれわれが明るい未来を創るべく，（社）日本機械学会において日々奮闘している様子をご紹介する．

2. LAJ の紹介

われわれ，Lady's Association of JSME（以下，LAJ）は，機械工学分野における女性研究者・技術者の活動を支援し，女性会員の増強を図ることを目的に，2004 年 10 月に長島昭学会長（当時）の声がけのもと，発足した．

発足当時，LAJ からのメッセージとして次の三つを発信した．

LAJ からの三つの提言

（1）性差も個性　多様性に対応できる社会の構築

（2）チャンスを活かせ　女性技術者のキャリア形成

（3）継続は力なり　働く女性は日本の活力

現在，LAJ は女性および男性会員を取り混ぜた 11 名の委員からなり，会員部会の下で①機械工学分野で活躍している女性の積極的な情報発信，②機械工学に携わる女性のネットワークの充実化と拡大，③性別を越えた研究・職場の環境つくり，を主な目標に，活動を行っている．



図１　茶話会の様子



図２　出前授業の様子

3. 活動内容の紹介

発足後，初めての活動は，2005 年 9 月に電気通信大学において開催された年次大会における「女性フォーラム」だった．当日は，（株）東芝の渡辺美代子氏による基調講演の後，７名の女性技術者，研究者によるパネルディスカッション「女子学生・女性技術者のためのキャリア形成術」を開催した．就職活動へのアドバイス，就職後に苦労した点，女性の残職率，家庭と仕事の両立などについて経験談の披露や議論が交わされた．またフォーラムの後に茶話会を開催し親睦を深めた（**図１**）．

2006 年 8 月には，「女子中学生・女子高校生のためのサマースクール in ツインリンクもてぎ」を開催した．当日は，新旧ホンダ車や F1 カーの見学，自動車の仕組みについてのミニ講義，チャレンジカート体験走行などを実施し，自動車といった身の回りにある機械を通して，機械工学に親しんでもらうイベントとなった．

女子中学生・女子高校生に向けたサマースクールについては，2007 年 8 月に第２弾を東芝科学館にて開催した．わが国初の自動式電気釜（東芝製，1955 年）と最新鋭の超高級炊飯器の炊き比べによるご飯の試食で炊飯器の性能向上を「味」によって体感することから始まり，裏表や大小が混在した複数枚の切符を高速で読み取ることができる自動改札機や，人の声に反応し，テレビを点けたりメールを読んだりしてくれるホームロボットなど，生活の中にある身近な機械に触れながら，機械の仕組みについて体験学習した．

2008 年 8 月には横浜国立大学において開催された年次大会にて，「機械道の歩み方―太郎と花子のキャリア形成―」と題してパネルディスカッションを開催した．当日は男性を含む５名のパネリストを迎え，離職・転職，出産・育児などについて議論が交わされた．いずれの企画も参加者の皆様からは「面白かった」「参加してよかった」といった評価をいただいた．

2009 年，2010 年は女子中学生，女子高校生に広く機械工学を知ってもらい，進路を考えるうえでの選択肢の一つとしてもらうことを目的に，女子高に出向き出前授業を開催している（**図２**）．出前授業では，自分が製造や開発に携わっている自動車や白物家電，ガスや家庭用燃料電池などの身の回りのエネルギー，自動改札機の仕組みや音の話，ロボットの話などについて，女性技術者自身がデモンストレーションを織り交ぜてわかりやすく講義している．参加した女子学生からは「ハイブリッドカーに興味が湧いた」「進路を決めるうえで非常に参考になった」「機械工学について身近に感じることができた」といったうれしい感想をいただいている．

4. これからの LAJ

先日，2009 年度に出前授業を開催した女子高から，「今年は本校始まって初，理系クラスを１クラス増やしました」という連絡をいただいた．

LAJ が発足して６年，多くの方のご協力をいただいて企画を準備，開催してきた．その中で，少しずつだが着実に「機械工学」が浸透しているという手ごたえを感じている．LAJ では今後も女子中学生・女子高校生向けの企画をはじめ，種々の活動を通し，機械系女子の明るい未来を創っていきたいと考えている．また，LAJ の活動に興味を持ってくださった方，LAJ へのご参加をお待ちしている．

（http://www.jsme.or.jp/laj/）

（原稿受付　2010 年 9 月 27 日）

〔金子暁子　日本機械学会 Lady's Association of JSME 委員長，筑波大学〕